

# 青春の詩《愛と夢》

曲・編 山中耕喜

Moderato *f ad lib.*

Konki. ㊦

せいしゅんとは

*mf* じんせいの あるきかんの いうのではなく あやなすころのさまを

*f mp cresc. mf* いうのだ としをかさねただけで ひとはいない

*mf* あこがれをうしなうとき はじめて おいがくる ひと

は しんねんとともに わかくととも  
は じしんとともに わかくととも  
きぼうあるかぎり わかくととも

1.2. *mf* 3. *mf*

おいーる ひと おい くちる じんせい どのみち  
おいーる ひと

*f (p)* を きわめても たどりつくのは あい

*cresc. f* おいも わかきも ゆめをのせて こえたからかに せいしゅんのうた

## 青春の詩

青春とは  
人生の或る期間を  
言うのではなく  
絞なす心の様を  
言うのだ  
年を重ねただけで  
人は老いない  
憧れを失う時  
初めて老いが来る

人は信念と共に若く 疑惑と共に老いる  
人は自信と共に若く 恐怖と共に老いる  
人は希望ある限り若く 失望と共に老い朽ち  
人生どの道をきわめても  
たどりつくのは愛  
老いも若きも 夢を乗せて  
声高らかに 青春の詩